

はじめに

- ・高齢者ではない住民が**孤独死**した事実
 - ・**引きこもり住民**がいるとの声
 - ・町で働いているからこそ、身近にあるこのような現状を知ることができ、何とかしたいと思った。
- ⇒社会問題にもなっている**“引きこもり”**について考える。

引きこもりの定義

様々な要因の結果として社会的参加(義務教育を含む就学,非常勤職を含む就労,家庭外での交遊など)を回避し、**原則的には6ヵ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態**(他者と交わらない形での外出をしていてもよい)を指す現象概念である。
(出典:『引きこもりの評価・支援に関するガイドライン』平成22年5月)

越知町の引きこもり者推定人数(15~64歳人口)

- ・全国の推定引きこもり人数:約**115万人**(人口の約**1.4%**)
(内閣府の調査結果より)
 - ・全国の推定割合から
越知町の引きこもり人数:約**38人**
- ※引きこもりは**実数把握が困難**なため、**仮説を立てる**。



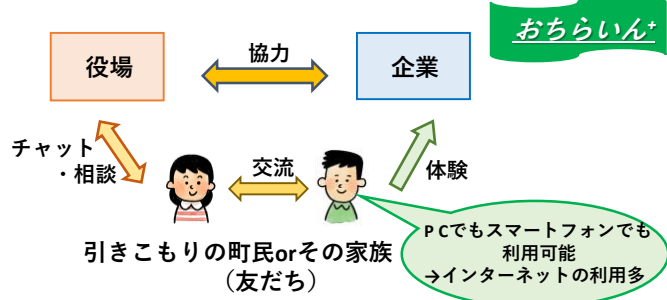
越知町の引きこもり者対応状況(担当から聴き取り)

- ・令和3年度中の相談件数:4件(2件:完了/2件:継続支援)
 - ・令和4年4月:引きこもり相談窓口設立(4月~7月現在、相談なし)
→直接担当(障がい・児童)へ相談はあった
- (対応がうまくいかない理由)時間が合わない・無理に外に出せない(現状から)時間を合わせられる・自宅にいても支援できる
⇒【現場の声から】**“誰かにつながる”政策を**

政策提言

引きこもり者支援専用の公式LINE『おちらいん+』開設

- ・チャットで**“誰かにつながる”**ことができる
- ・LINEで**就業体験のきっかけ**に



(役場⇄友だち・友だち⇄友だち)

おちらいん+

(役場⇄企業・役場⇄友だち⇄企業)

- ・詳細やQRコードは**広報やチラシ**で
- ・QRコードから**友だち追加**してもらう
- ・チャットで担当職員が相談受付
平日日中・週2回夜間受付(夜間は予約制)
- ・“ひとりごと”は**24時間受付**(緊急時等是对応)
- ・希望者は**グループチャット**で**友だち同士の交流**
(担当職員の参加はなし)



- ・町内の企業から得た情報を元に『自分に合う企業が見つかる』**フローチャート**を町が作成
- ・興味を持った友だちが**フローチャート**に従い質問に答えていく
- ・その結果より**就業体験申し込み**
- ・職員立ち合いの元、**就業体験スタート**

予算

項目	単価	予定数	1月あたり	期間	合計
時間外手当(夜間受付・担当職員)	2,000円	4時間	8日	12か月	768,000円
チラシ用紙(周知用)	1,500円	—	—	—	1,500円
協力金(町から企業への)	1人1日 1,000円	5人	8日	12か月	480,000円
					1,249,500円

予算: **1,300,000円**

効果

- ・LINE友だち登録数より ⇒ **引きこもり件数の把握**
- ・グループチャットでの交流より ⇒ **自分と同じ立場の友人ができるきっかけ**
- ・就業体験をすることにより ⇒ **社会参加のきっかけ**

効果予測

自治体名	把握人数	1年あたり相談件数	本人・家族による相談件数(3年間)	社会参加人数(3年間)
岡山県総社市				
総合相談支援	207人	63件	189件	57人(1年あたり:19人)
高知県越知町				
『おちらいん+』	(推定)38人	(推定)11件	(推定)33件	推定9人(1年あたり:3人)

※LINEでの受付ではない

ビジョン

推定の相談件数・社会参加人数より

⇒20年後、**越知町の引きこもり者ゼロへ**

